

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ラメルテオン・スボレキサント内服によるせん妄減少効果の検証

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 石塚雅人（薬剤部）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：実施承認後～2019年10月末

術後患者がせん妄を起こすことはしばしばあり、患者の生命維持を行う妨げにも繋がるため、術後のせん妄発症を未然に防ぐことが重要となる。予防法のひとつとして、ラメルテオン、スボレキサント内服の文献報告がある。本研究では、聖隷三方原病院整形外科病棟における、人工骨頭置換術施行患者に対してのラメルテオン、スボレキサントの使用状況を調査し、予防的投与が有効であるかを後ろ向きで調査し、検討する。

■ 対象となる患者さん

2018年4月1日から2019年3月31日までに左右人工骨頭術を施行した入院患者

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診断名、年齢、性別、既往歴（糖尿病、脳血管障害、認知症）、原疾患、入院時に持参した薬、治療に関する情報（術式、投与薬剤、ケア項目、せん妄対策チームの介入歴）、せん妄症状の経過等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

薬剤部 石塚雅人

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971